



修学旅行によせて

昨年度まで夏休み前に実施していた修学旅行。今年度は9月実施となり、いよいよ間近に迫ってきました。9月はスポーツフェスタと文化祭、修学旅行と楽しい行事が目白押し。慌ただしくも充実した学校生活を送っていると思います。

進路委員さんが3年1組の長尾依真さんの素敵なしおりの表紙の紹介とともにスローガンに込める思いを語ってくれました。スローガンは「一笑懸命」。「何よりも楽しみたい。」「全力で楽しみ全員で学んで一生の思い出をつくりたい。」「一生懸命に活動し、笑顔があふれる楽しい修学旅行にしたい。そんな思いが伝わってきます。

トップアスリートがインタビューで、「試合を楽しみたい」と発言することがあります。昭和の時代の「根性」「忍耐」「努力」といったキーワードで育ってきた世代の人たちからは「何を甘いことを言っているんだ。命がけで戦え。」といくらかの批判の声を耳にすることがあります。

ここでは、「楽しさ」の中身が問われます。トップアスリートの楽しむは、「自分の限界まで努力し、その成果を最高の舞台で発揮する。そこで得られる経験を自分の糧にしたい。」そんな思いを感じ取られます。「根性」「忍耐」「努力」を乗り越えてたどり着く、とても値打ちのある発言だと昭和生まれの私は思います。

だからといって、日常のたわいもない会話、遊び、それらに意味がないとも思いません。仲間とのくだらない話、大いに結構です。修学旅行では日頃の生活から離れた仲間との生活を送ります。仲間と東京都内で行動を共にする。こんな経験はこの先生涯にわたってめったにできない経験です。いろいろな学習はもちろん、仲間とのくだらない話も含めて仲間のよさ、自分のよさを十二分に味わってきてください。